

(社)日本糖尿病教育・看護学会  
第12回 糖尿病透析予防支援 質向上のための研修 プログラム

テーマ 『気づく！ひもづく！腑に落ちる！運動支援を糸口とした気づきを促す透析予防支援』

開催日時：2025年8月24日(日)9:00～16:45 場所：イオンコンパス 大阪駅前会議室(新RoomA)  
主催：日本糖尿病教育・看護学会 研修推進委員会

【研修目的】

糖尿病性腎症の治療、食事や運動療法のパラダイムシフトを理解し、「患者が糖尿病性腎症と向き合い自分らしく生きる」ための支援として、運動を糸口に気づきを促す透析予防支援技術を習得する。

【研修目標】

1. 患者の腎症段階を正しく捉え、患者の身体と望みに合わせて支援を考える大切さがわかる
2. 腎症の進行を予防し、生活の質を低下させないために食事や運動支援の必要性と方法がわかる
3. 運動を糸口とした気づきを促す支援がわかる

	オリエンテーション	八戸市立市民病院 久保睦子	10分	9:00～9:10
講義1	診療報酬：看護の成果としての診療報酬 【ねらい】透析予防指導管理料及び高度腎機能障害患者指導加算の算定のためのチームにおける看護師の役割と運動支援の重要性を学ぶ  日本糖尿病教育・看護学会 看護研修推進委員会委員長 青木美智子		30分	9:10～9:40
講義2	医学的知識：糖尿病性腎症の病態生理と治療法 【ねらい】典型的な糖尿病性腎症や急速進行する病態と治療についておよび糖尿病性腎症における運動の必要性を学ぶ  東北医科薬科大学若林病院院長 赤井裕輝 先生		50分	9:40～10:30
休憩	中休み		10分	10:30～10:40
講義3	看護支援1：糖尿病性腎症と向き合い「自分らしく生きる」ための食事支援 【ねらい】糖尿病性腎症の病期やフレイル予防に応じた食事支援のコツを学び、看護につなげる  京都大学医学部附属病院 疾患栄養治療部 和田啓子 先生		40分	10:40～11:20
講義4	看護支援2：糖尿病性腎症と向き合い「自分らしく生きる」ための運動支援 【ねらい】併存症や心肺機能を考慮した安全な運動強度とその評価方法を理解し、筋肉を意識した生活やフレイル予防するための運動支援のコツを学び、看護につなげる  聖マリアンナ医科大学病院 リハビリテーション科 平木幸治 先生		40分	11:20～12:00
演習1	動態評価体験：自分の筋肉の状態や心機能を理解するための運動体験 【ねらい】動態チェックやBorg指数の体験を通して、患者の状態に適した運動強度や方法がわかる  JCHO四日市羽津医療センター 平岡めぐみ		40分	12:00～12:40
休憩	昼休憩		60分	12:40～13:40
講義5	糖尿病性腎症と向き合うことを支える療養支援 【ねらい】患者が糖尿病性腎症を正しく理解し、腎臓が弱っている身体であることを受け止め、新しい段階へむけての自己決定を促すアプローチを学ぶ  国立大学法人 金沢大学 監事 稲垣美智子 先生		40分	13:40～14:20
講義6	看護支援3：支援ツールを使った気づきを促す療養支援 【ねらい】人の認識活動を知り、患者の気づきを促し「やってみよう」という気持ちを育てる支援について学ぶ  川崎市立井田病院 柳井田恭子		40分	14:20～15:00
休憩	中休み		10分	15:00～15:10
演習2	事例検討：気づきを促す療養支援を考える 【ねらい】事例をもとに、病態をアセスメントし、支援ツールを用いて、患者にあった支援方法を考える機会にする  岡崎市民病院 吉田照美		80分	15:10～16:30
演習3	アクションプラン：明日からやってみたいこと表明 【ねらい】「私は、こんな風に気づきを促す支援を行います！」とメモに、今の気持ちを言語化することで、学びの定着を促す  土佐市立土佐市民病院 浜田詩子		10分	16:30～16:40
まとめ	本研修のまとめ  日本糖尿病教育・看護学会 研修推進委員会委員長 青木美智子 アンケート・閉会  八戸市立市民病院 久保睦子		5分	16:40～16:45